第１学年２組　国語科「おはなしをたのしんでよもう『サラダで　げんき』」

「げんきになるサラダレシピ」をつくろう！

指導者　　石津　誠

１　単元設定の理由

○　本単元は，小学校学習指導要領第１学年及び第２学年の「Ｃ読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には以下のように示されている。

（１）ウ　場面の様子について，登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
　　オ　文章の内容と自分の経験とを結び付けて，自分の思いや考えをまとめ，発表し合うこと。

単元構成図

「げんきになるサラダレシピ」をつくろう！

	活動の内容	学習目標
第一次	教材文の読み聞かせを聞き，感想を出し合う。 「げんきになるサラダレシピ」をつくるという学習の見通しをもつ。	教材文に興味をもち，意欲的に学習に取り組もうとする。
第二次	「サラダでげんき」を読み，人物の登場する順序や，登場の様子，サラダに入れる材料，どんなサラダになるかを「げんきになるサラダレシピ」にまとめる。	人物の登場する順序や登場の様子，人物の行動に着目し，場面の様子について想像を広げながら読み取ることができる。
第三次	オリジナルの「もっとげんきになるサラダレシピ」を考え，友達と発表し合う。	もっとげんきになるサラダにするために，自分の考えた材料をサラダレシピに書くことができる。

○単元観

本単元では，「げんきになるサラダレシピ」をつくろうという活動目標を設定し，登場人物の様子や行動をレシピとしてまとめていく活動を通して，人物が登場する順序とそれぞれの行動を把握した上で，場面の様子を豊かに想像しながら読むことをねらいとしている。

本教材「サラダでげんき」は，主人公のりっちゃんが病気のおかあさんの回復を願ってサラダを作ろうとすると，いろいろな動物が順番に出てきてサラダ作りに協力してくれるという楽しい話である。動物たちの登場場面では，動物の登場の様子，サラダに入れる材料，材料を入れる理由が書かれており，同じようなやりとりが繰り返されているため，展開が分かりやすい。また，登場の様子は，物語が進むに従い，徐々に遠い場所から来るようになっている点からも，場面の展開を捉えやすくなっている。

動物が登場する際には，「のっそり」「とびこんで」「こそこそと」等，動物ごとに登場の様子が異なっている。また，動物がサラダに入れる材料や材料を入れる理由をりっちゃんに教える際には，その動物の個性が表れている。これらのことを読み取っていくことで，場面の様子を豊かに想像しながら読むことができる。

本単元の最後では，自分のおすすめの材料や手順を加えて，「もっとげんきになるサラダレシピ」をつくる活動を仕組み，登場人物と同じ目的で活動することで，人物に同化して楽しく物語を読み進めることができると考える。

○児童観

本学級の児童（25 名　男子 16 名，女子 9 名）は，1 学期「おおきなかぶ」の学習において，場面の様子を想像しながら，物語のおもしろさを楽しんで読む学習をした。児童は物語の展開に関心を持ち，繰り返しのおもしろさを感じながら登場人物の様子や気持ちを考えていった。登場人物の行動から気持ちを考えていく際には，動作化しながら音読したり，気持ちを吹き出しに書いたりする学習活動を行い，表現する楽しさを感じ取っていた。

登場人物の登場する順番をノートに書かせた際には，全ての児童が正しい順番で答えることができた。また，かぶを引っ張る順番についても，教科書の挿絵を結び付けながら，正しく捉えることができた。一方で，登場人物のせりふを吹き出しに書かせた際には，単元の最初では「ぬけないなあ」のように場面の出来事をそのまま書いていたり，「つかれたなあ」のように，一単語での書かれていたりしているものがほとんどであった。物語の最後の場面の「かぶが抜けた場面」で吹き出しを書かせた際には，「やっとぬけた。」「がんばってよかった。」のように，場面の様子を想像した記述がみられたが，約半数は出来事や一単語での記述に留まっていた。

以上のことから，人物の登場する順序のように，事柄の順序は理解できているものの，場面や登場人物の様子をもとに想像を広げて読むことが十分ではない。

○指導観

指導に当たっては，「げんきになるサラダレシピ」をつくるという言語活動を設定し，人物が登場する順序とそれぞれの行動に着目して，場面の様子を豊かに想像できるというねらいを達成できるよう指導していく。ねらいに基づき，次の３点において工夫して学習を進める。

第一に，ペープサート劇を取り入れ，登場人物になりきって演じさせることで，人物の行動や会話文から場面の様子を捉えられるようにする。場面を演じた後には，前の場面と比較して，違うところと同じところを見つけるようにし，場面の様子について豊かに想像させて読ませたい。

第二に，読み取ったことを「げんきになるサラダレシピ」のワークシートにまとめていく。その際には，動物の登場の様子，サラダに入れる材料，どんなサラダになるかの３点をまとめることで，物語の展開やサラダができあがっていく様子を場面ごとに捉えられるようにする。

第三に，オリジナルの「もっとげんきになるサラダレシピ」をつくるという言語活動を設定する。その際には，教材文を読み取るときに用いた「げんきになるサラダレシピ」のワークシートと同様のワークシートを用い，文章の内容と自分の経験とを結び付けて自分の思いや考えをまとめ，発表し合うことができるようにする。

2　単元の目標

○　物語に興味をもち，楽しんで読もうとしている。　【国語への関心・意欲・態度】

◎　人物の登場する順序や人物の行動に着目し，場面の様子について想像を広げながら読むことができる。　【読むこと　ウ】

○　文章の内容と自分の経験とを結び付けて，自分の思いや考えをまとめ，発表し合うことができる。　【読むこと　オ】

○　平仮名及び片仮名を正しく読むことができる。【言語についての知識・理解・技能　ウ（ア）】

3　単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	○「げんきになるサラダレシピ」をつくることに興味をもち，物語を楽しんで読もうとしている。	◎人物の登場する順序や登場の様子，人物の行動に着目し，場面の様子について想像を広げながら読んでいる。 ○もっとげんきになるサラダにするために，さらに加えたい材料を考え発表し合っている。	○本文に出てくる平仮名及び片仮名を正しく読んでいる。

4　指導計画（全10時間）

次	学習活動	めざす児童の姿	評価規準（評価方法）
一	教材文の読み聞かせを聞き，感想を出し合う。（1）	いろんなどうぶつがでてきて，サラダにいろんなものを入れているところがおもしろかったです。	○　教材文に興味をもち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 【関・意・態】（ノート）
	「げんきになるサラダレシピ」をつくろう！		
	「げんきになるサラダレシピ」をつくるという学習の見通しをもつ。（1）	わたしもざいりょうを入れて，おいしくてげんきになるサラダをつくりたいです。	○　「げんきになるサラダレシピ」をつくることに興味をもち，お話を読もうとしている。 【関・意・態】（ノート）
二	りっちゃんがサラダを作り始める場面を読み取る。（1）	りっちゃんは，おかあさんのために，おいしくてげんきになるサラダをつくろうとしていました。	○　りっちゃんがサラダを作り始めたわけを読み取っている。 【読む】（ワークシート） ○　片仮名を正しく読むことができている。　【言語】（行動観察）

	のらねこととなりの犬の場面を読み取る。（1）	かつおぶしを入れると木のぼりがじょうずになるサラダなります。わけは，ねこは木のぼりがとくいだからです。 ハムを入れるとげんきのでるサラダになります。わけは，ほっぺがももいろにひかりだすからです。	○　動物の登場の様子，サラダに入れる材料，どんなサラダになるかについて読み取っている。 【読む】（ワークシート）
	すずめとありの場面を読み取る。（1）	とうもろこしを入れるとうたがじょうずになるサラダになります。わけは，すずめはうたがじょうずだからです。 さとうを入れるとはたらきものになるサラダになります。わけは，さとうのすきなありは，はたらきものだからです。	○　動物の登場の様子，サラダに入れる材料，どんなサラダになるかについて読み取っている。 【読む】（ワークシート）
	うまと白くまの場面を読み取る。（1）	にんじんを入れるとあしがはやくなるサラダになります。わけは，にんじんがすきなうまは，かけっこでいつも一とうしょうだからです。 こんぶを入れたらかぜをひかなくなるサラダになります。わけは，しろくまはさむいところでもげんきにすごしているからです。	○　動物の登場の様子，サラダに入れる材料，どんなサラダになるかについて読み取っている。 【読む】（ワークシート）
	アフリカぞうの場面を読み取る。（1） （本時７／10）	おいしくて，もっとげんきになるサラダになります。わけは，アフリカぞうがあぶらとしおとすを入れ，ながいはなをつかって，カづよくくりんくりんまぜたからです。	○　登場人物の行動から，サラダの仕上げをしたことで，おいしく，もっと元気になるサラダにすることができたことを読み取っている。 【読む】（ワークシート）
	サラダができ上がった場面を読み取る。（1）	いろんなどうぶつがおしえてくれたざいりょうをいれたので，サラダをたべたおかあさんはげんきになりました。	○　みんなの考えを合わせてできたサラダを食べて，げんきになった様子を読み取っている。 【読む】（ワークシート）
三	オリジナルの「げんきになるサラダレシピ」を考え，発表し合う。（2）	わたしは，〇〇を入れます。そうすると，～になるのでげんきが出るサラダになります。	○　もっとげんきになるサラダにするために，自分の考えた材料や手順をサラダレシピに書き，発表し合っている。 【読む】（ワークシート）

5　本時の展開

⑴　本時の目標

○　ぞうがサラダの仕上げをしたことで，おいしく，もっと元気になるサラダになったことを読み取ることができる。

⑵ 観点別評価規準

○　ぞうがサラダの仕上げをしたことで，おいしくもっと元気になるサラダにすることができたことを読み取っている。【読む能力】

(3) 準備物

ペープサート，サラダの絵，ワークシート

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（○）と支援（◆）	評価規準（評価方法）
1　前時までの学習を振り返り，本時のめあてを確認する。	○　いろいろな動物が，自分の好きな食べ物を紹介していたことを確かめる。 ○　動物が紹介した材料の絵をお皿の絵の上に貼っていき，どんなサラダになっているかを押さえる。	
アフリカぞうのおすすめをサラダレシピにまとめよう。		
2　本文を音読する。 P15.L1～P16.L4	○　動物の登場の様子，サラダに入れる材料，材料を入れる理由に着目して音読させる。	
3　ぞうの登場の様子や場面に出てくるサラダの材料を確認する。	○　ペープサートを用いて，登場の様子や動作を捉えられるようにする。 ○　動物の登場の様子，サラダに入れる材料について確認する。 ○　「登場の仕方」にサイドラインを引き，「材料」を線で囲ませる。	
4　ぞうがやってくる場面とこれまでの場面を比較し，場面の特徴を捉える。	○これまでの場面と違うところと同じところを考えるようにする。	
【違うところ】 ・乗り物に乗って登場している。 ・「油と塩と酢」は，ぞうのすきな材料ではない。 ・ぞうは，「油と塩と酢」を入れる理由を言っていない。 ・スプーンを使って混ぜている。	【違うところ】 ○　登場人物が徐々に遠くから登場していることに気づかせる。 ○　「油と塩と酢」は，これまでと異なり，ぞうの好物ではないことを捉えさせる。	
【同じところ】 ・りっちゃんのお手伝いをしている。 ・げんきになるサラダをつくろうとしている。	【同じところ】 ○　げんきになる材料ではないが，げんきになるサラダにするために手伝ってくれたことを捉えさせる。 ◆　ぞうは飛行機に乗ってやってきたことから，ぞうは遠い場所にいたのに，わざわざやってきていることに気付かせる。	
5　ぞうがなぜやってきた	○　ぞうが，サラダが完成する時に間に合わ	

かを考える。	なかったらどうなっていたかを考えるようにする。 ◆　「油と塩と酢」を入れてないときのサラダを想像させ，見た目や味が変わるかどうかを考えさせる。	
6　ぞうがやってきたことでどんなサラダになったのかを，サラダレシピにまとめる。 （評価問題）		○登場人物の行動から，おいしくもっと元気になるサラダにすることができたことを読み取っている。 【読む能力】 （ワークシート）
おいしくて，もっとげんきになるサラダになります。わけは，アフリカぞうがあぶらとしおとすを入れ，ながいはなをつかって，力づよくくりんくりんまぜたからです。		